

# 会議・視察報告

## 大図們江地域国際協力開発フォーラム

ERINA調査研究部研究員 朱永浩

国連開発計画（UNDP）図們江開発事務局、延辺朝鮮族自治州政府主催の「大図們江地域国際協力開発フォーラム」（The Seminar on International Cooperation in Greater Tunmen Area）が2008年8月28日、中国吉林省延吉市にある白山ホテルで開催された（写真1）。フォーラムには、中国商務省、吉林省及び地元延辺朝鮮族自治州政府の役職員、専門家をはじめ、日本のERINA、JICA、ロシアの経済発展貿易省と沿海地方行政府、ウラジオストク市行政府、モンゴル政府、韓国の政府、専門家、企業代表など約70名が出席した。

今回のフォーラムは、「協力」「発展」「ウィンウィン」をキーワードに、2つのセッションで構成された。鄧凱（Mr. Deng Kai）中国共産党延辺朝鮮族自治州党委員会書記兼吉林省党委員会常務委員、ナタリア・ヤチェイストワ（Ms. Yacheistova N.）UNDP図們江開発事務局長による開会挨拶の後、第1セッション（Strengthening International Cooperation in Northeast Asia）と第2セッション（Development of Cooperation in Tourism in GTI）が行われた。

第1セッションでは、まずヤチェイストワ氏が「大図們江地域の展望」をテーマに講演し、大図們江地域の国際協力には関係各国の更なる協調と連携が不可欠であり、これを推進するためには、延吉市の役割が重要となることと強調した。その後、張慧智（Ms. Zhang Huizhi）吉林大学教授、胡援東（Mr. Hu Yuandong）国連工業開発機関（UNIDO）投資・技術移転促進事務所首席代表、ズボワ（Ms. Zubova N.）ウラジオストク市第一副市長、李承律（Mr. Lee Sung Rul）延辺大学科学技術学院副院長、白晟昊（Mr. Baek Seung Ho）東春フェリー社長が、それぞれの立場から北東アジア地域協力の強化に向けた課題、最新動向と今後の展望について分析を行った。中でも、ズボワ氏が2012年のAPEC開催に向けてのウラジオストク市の準備状況を説明し、ホテル不足などの緊急課題を紹介したこと、白晟昊氏が北東アジア輸送回廊の必要性と東春フェリーの具体的な取り組みについてのプレゼンテーションに、多くの参加者の関心が集まった。

つづく第2セッションでは、閔光道（Mr. Min Guangdao）



写真1 フォーラム会場（白山ホテル）

延辺朝鮮族自治州副州長が司会を務めた。最初に、鄭文喜（Ms. Jung Mun Hee）韓国環境省地球環境局事務官が「大図們江地域のエコツーリズム」というテーマで報告を行い、大図們江地域におけるエコツーリズム推進のためのルール作りや、観光資源開発に向けた行政、民間事業者による多国間協力の重要性などを唱えた。その後、ルター・エンフナサン（Ms. Lutaa Enkhnasan）モンゴル交通運輸観光省観光局副局長とカルダシュ（Ms. Victoria Kardash）ロシア経済発展貿易省貿易交渉局長が、モンゴルとロシアの観光産業振興政策について報告した。最後に、三橋郁夫 ERINA特別研究員が「図們江地域開発に向けての2つの挑戦」と題して、図們江地域開発の特徴及び発展方を説明した上、北東アジア国際観光フォーラム（IFNAT）の事例を取り上げながら、観光交流の拡大に向けた北東アジア諸国間の相互理解と協力を提唱した。

今回のフォーラムでは、中英口日韓5カ国語の会議通訳者が多数用意されたが、中英同時通訳を介した他言語への同時通訳は余りスムーズに行かず、同時通訳音声が届かないトラブルが数回あった。その上、発言資料が配布されていないため、報告内容が理解しにくいところもしばしばあった。また、各セッションの後、討論及び質疑時間を設けていなかったため、いま一つ不完全燃焼という印象を受けた。それでも、フォーラム後の懇親会では、日本語、韓国語、中国語、英語などが飛び交い、各国参加者が自国の

歌や踊りを披露して友好の輪を広げたことで大いに盛り上がった。

この他、各国の会議参加者はフォーラム主催者の招待で、延辺国際コンベンションセンターで開催された第3回中国延吉国際投資貿易商談会・第4回図們江地域国際投資貿易商談会にも参加した（写真2）。

2008年8月28日から30日の間に開かれた商談会には、主催者の発表によれば、出展企業関係者、バイヤーを含めて約5,000人が参加したという。220のブースが設置された商談会会場では、食品、医薬品、医療設備、建築材料、化学、機械設備、電子、IT、木材、アパレルなど様々な分野での投資・貿易商談が行われ、期間中の成約額は78億元に達し、大きな成果を挙げた（「延辺日報」2008年9月1日付）。延辺朝鮮族自治州と延吉市にとって、今回のフォーラムと商談会はいずれも国内外への絶好のPR機会となったといえる。



写真2 商談会開幕式（延辺国際コンベンションセンター）